学校法人ISI学園　専門学校東京ビジネス外語カレッジ
2022年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	異文化コミュニケーションⅡ		（TGB130）
講義名（コード）	TGB_異文化コミュニケーションⅡ_B		（TGB130B）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	渋木　里美	時間数	30
成績評価教員	渋木　里美	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力、人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で学生が異なる文化背景を持つ他者への理解力を高めるために、現代の社会課題に対して多様な視点から考えられるようになる。
全体の内容と概要	就職活動（面接、履歴書作成、エントリーシート作成）や社会人として必要な表現力を身につける。 テーマに関する語彙を理解し、就活やビジネスで使用する漢字が書けるようになる。聞き取りやすいプロソディーを身につける。
授業時間外の学修	授業で学んだ語彙、漢字を復習しておくこと。
履修上の注意事項等	配布したプリントはファイルしておくこと。 自身の考えを他者に伝え、聞くために積極的に授業に参加する姿勢が必要である。

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件				
評価基準	知識（期末試験点） 60%		自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数		出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容	
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。	
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。	
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。	
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。	
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。	
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	履歴書・ES① 履歴書・ESの内容がわかる	①履歴書のポイント　②エントリーシート(ES)のポイント 『漢字マスター』プリントテスト11、ビジネス語彙1
2	履歴書・ES② 送付状や封筒の書き方がわかる	①送付状の作成　②封筒の書き方 『漢字マスター』プリントテスト12、ビジネス語彙2
3	履歴書・ES③ 履歴書や送付状を作成できる	履歴書・送付状を作成する 『漢字マスター』プリントテスト13、ビジネス語彙3
4	就職活動に必要なメールのマナーを知り、書ける	就活上のメールのマナーを理解し、書くことができる（資料請求・会社説明会申し込み他） 『漢字マスター』プリントテスト14、ビジネス語彙４
5	面接① 面接のルールとマナーがわかる	服装とマナー　面接の流れ・面接でよく出る質問 『漢字マスター』プリントテスト15、ビジネス語彙5
6	面接②　マナーよく面接に臨み、基本的な質問に答えられる	模擬面接 『漢字マスター』プリントテスト16、ビジネス語彙６
7	面接③ グループディスカッションに臨む	グループディスカッションを実践する 『漢字マスター』プリントテスト17、ビジネス語彙７
8	面接④ お礼のメールを書ける	模擬面接の振り返り お礼メール作成、『漢字マスター』プリントテスト18、ビジネス語彙８
9	異文化理解① 文化の違いを理解できる	見える文化（食べ物・衣服・音楽・ダンスなど）・意見交換 『漢字マスター』復習・まとめ、敬語①
10	異文化理解② 共生するための努力ができる	見えない文化（誤解や衝突、価値観、時間の感覚）・意見交換 『漢字マスター』復習・まとめ、敬語②
11	異文化理解③ 日本に関心をもつことができる(1)	見えない文化（異文化の中で働くには）・意見交換 『漢字マスター』復習・まとめ、敬語③
12	異文化理解④ 日本に関心をもつことができる(2)	ケーススタディ・グループ学習 『漢字マスター』復習・まとめ、期末試験対策、敬語④
13	一年の学習を振り返ることができる	テーマに沿って自身の考えをまとめ、意見を発言する
14	期末試験	
15	期末試験解説	

5．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	『学生手帳』『漢字マスターN2』(テストプリント)
備考	